

# 学び舎ひまわり第1講 開催報告

DATA

日時 平成27年9月12日(土) 13:00~16:00

会場 区役所別棟201・202会議室

受講生 36名(地域29名 区役所7名) 欠席者 2名(ケアブラザ1名 区役所1名)

## プログラム内容

### 第1部 開校式

藤田校長あいさつ



「協働による地域づくり」をより一層深めていくために、地域の皆さんと行政職員がともに机を並べ、講座中に様々な知識や経験を共有することで、お互いパートナーとしての絆を築いていってほしい。また、今年度より港南区社会福祉協議会が主催として参画する。連合と社協は車の両輪のようなもので、一緒に地域づくりをすすめていると考えている。

これからの半年間学び舎ひまわりで学ぶこと、受講生同士の経験や知恵、諸先輩方や卒業生からのアドバイスを持ち帰り、今後の地域活動に活かしていただきたい。

### 第2部 座談会

『学び舎ひまわりとは何か』

パネラー 高森名誉校長 島・若林 卒業生代表 齊藤港南区長

コーディネーター 内海 宏



高森 政雄 名誉校長

少子高齢化を迎える今、協働による地域づくりをすすめ、地域で出来ることは地域でやっていくことが必要。協働の意味を理解して実行していくことを学ぶ場として『学び舎ひまわり』をスタートさせたのは、次の世代を担う人材を育成し、こうした取組によって港南区全体が良くなるのが大きな目標である。次の世代を良くすることは受講生の皆さんにかかっている。真剣に取り組むといいアイデアが出てくるので、頑張ってください。



島 みよ子 氏 (第2期卒業生)

学び舎ひまわりを受講し、一挙に多くの方と知り合いになれたこと、また様々な取組を知ったことなど大変有意義だった。地縁の大切さを感じながら、自分の地域の隣り、そのまた隣りへと地縁が繋がっていくことが期待される。また、職員と一緒に学ぶことで、職員との距離がぐっと縮まり、講座を離れた今でも大変心強く感じる。



若林 諭 氏 (第2期卒業生)

受講生の共通の目的は「地域を良くしたい」ということ。どう良くしていきたいか、講座中はそのアンテナを張っていると、おのずと取組としてカタチになっていく。すでに活動をされている受講生同士、取組を真似しあうことも有効。またこのように何かを依頼されるということは、自分に価値があるからこそ。依頼が来たらなるべく引き受けるような受講生となってください。

裏面へ続く



齊藤 貴子 氏（港南区長）

港南区は地域を良くしたいという熱い想いを持っている方が大勢いて、大変感謝している。広い区内、地域によって条件に違いはあるが、それぞれの地域の中で特性を活かしながら、良い取組はおたがい取り入れながら地域づくりをすすめていっていただきたい。知恵を出しあい一緒に頑張っていきましょう！



内海 宏 氏

地域は時代の最先端をいって、それぞれの地域ならではの新しい問題が常に発生している。その問題が一般化し、対策を考えるなどの動きが出てくると、新しい仕組みや制度となっていく。高齢化が進む中、そんな動きの一端にふれることで、皆さんの活動の幅を広げていっていただきたい。

### 第3部 マップづくりに向けて（講義・ワークショップ）

内海氏より学び舎ひまわり全体の流れの説明、第2講に行くまち歩き・マップづくりの説明、まち歩きで訪れたいスポットの選定、ルートについて話し合いました。



上大岡・大久保最戸・笹下・日下



日野第一・日野・港南台・日野南



野庭団地・野庭住宅・ひぎり



永野・下永谷・永谷・芹が谷

### 学びのまとめ（アンケート）集計結果 全参加者 36件分

満足	やや満足	普通	やや不満	不満	合計
20	13	2	1	0	36
55.6%	36.1%	5.6%	2.8%	0.0%	

#### 受講生の声（抜粋）

- 不安な点が多々ありましたが、諸先輩のお話を聞いて良かった。
- 座談会により全体の方向性が理解できた。●マップづくりに係る部分は新しいことばかりでよかった。
- マップづくりでは進んで皆さん参加されていて、話がスムーズに進んだように思った。
- お互いの地域の特性を生かした話し合いでよかった。
- 学び舎に参加できたことが、今後の町内会などの運営に役立つことと思う。
- 実際に活動していないので、まだ今は何とも言えない。
- マップ作りの際に全体の話をもとめるのに時間がかかった。

